

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
家庭支援論	講義	2	番匠 明美
<p>【授業のテーマ及び到達目標】 テーマ:子どもの毎日を確かなものにするために</p> <p>到達目標:①家庭の意義とその機能について理解することができる。②子育て家庭を取り巻く社会的状況等について理解することができる。③子育て家庭の支援体制について理解することができる。④子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と関係機関との連携について理解することができる。</p>			
<p>【授業の概要】</p> <p>時代とともに家族や家庭の持つ意味合いが大きく変化するなかで、子どもにとって安心できる家庭とはどのようなものか。現代の家庭における人間関係をふまえ、支援を必要とする家族の背景と子育ての様々な施策についての理解を深める。また、保育を必要とする家庭や障害を持つ子どもを育てる家庭等への支援の実際について学び、子育て支援の今後の課題を検討する。</p>			
<p>【全体の授業計画・内容】</p>			
1. オリエンテーション			
2. 家族・家庭は どのように変化してきたか			
3. 子どもにとっての家族・家庭 ①家庭における人間関係			
4. 子どもにとっての家族・家庭 ②子どもが育つ場の条件			
5. 支援を必要とする家族の背景と子育て施策			
6. 支援を必要とする家族・家庭			
7. 地域における子育て家庭と子育て支援の実際と今後の課題			
8. 保育を必要とする家族・家庭とその支援の実際			
9. 障害を持つ子どもとともにある家族・家庭とその支援の実際			
10. 子どもの貧困とその家族・家庭への支援の実際			
11. 養育困難家庭への支援の実際			
12. 子育て支援の今後の課題 ①実践例			
13. 子育て支援の今後の課題 ②今後の課題			
14. これまでに展開した家庭支援の整理と今後の課題			
15. 試験およびまとめ			
<p>【準備学習の内容】</p> <p>予習のあり方:ニュース等から子育てに関する問題に関心を持っておく。</p> <p>学習のあり方:学んでいることに関して、テキストなどを参考に自分の考えをまとめるようにする。</p> <p>復習のあり方:学んだ内容を実践的に生かせるよう、体験することも含め、自分なりに出来ることを試みる。</p>			
<p>【成績評価】</p> <p>平常試験(70%) 受講態度(30%)</p>			
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</p> <p>小レポートに記述された質問に授業内でコメントし受講者の理解を深める。</p>			
<p>【テキスト】</p> <p>阿部和子 『家庭支援論』 萌文書林</p>			
<p>【参考文献】</p> <p>松本園子他 『実践 家庭支援論』 ななみ書房</p>			